

やどう みわ て
野草を見分ける手がかり

はる ちか えんない さまざま さ はし
春が近づき、園内では様々な野草が咲き始めてきました。野草の名前を調べる時、その花の色や形を手がかりにするとお思います。ですが、中には花の形が似ている野草もあります。

たと すすこ
例えば、トキワハゼとムラサキサギゴケです。トキワハゼは少し白っぽい花をつけ、花の大きさは1cm程です。ムラサキサギゴケは花全体が濃い紫色で、花の大きさは1.5~2cm程です。よく見ると違いはありますが、花の見た目だけで判断するのは、慣れるまでは難しいです。



トキワハゼ



ムラサキサギゴケ

〇〇の違いで見分けてみよう

そこで、もう一つ手がかりとなるのが、花の咲いている環境です。トキワハゼは道端に多く、少し乾燥した場所でも生えますが、ムラサキサギゴケは水辺の少し湿った場所に生えます。

園内では、トキワハゼは「みっけの原っぱ」で、ムラサキサギゴケは「ハス田」でよく見られます。



みっけの原っぱ



ハス田

気になる野草を見つけたら、花の色や形に加えて、その野草が生えている環境を確認することで、野草の名前が調べやすくなります。原っぱや水辺などの様々な環境がある園内で、環境の違いに注目して、野草観察を楽しんでみませんか。

【解説員 田中】

NO.30 ナナホシテントウ



見つけやすい ←★→ 見つけにくい

7つの黒い点がついた赤い羽が特徴のテントウムシです。幼虫も成虫もアブラムシを好んで食べ、カラスノエンドウやギシギシなどの植物があるところでよく見られます。

にっせ
ボランティア日記

1月13日(土)

しんねんこんしんかい
新年懇親会

えんない かつどう いろいろ
園内で活動している色々なボランティアが集まり交流する「新年懇親会」を行いました。昨年の活動を振り返り、「うき島池のかい掘りイベント」が中止となって残念だったことが思い出されました。



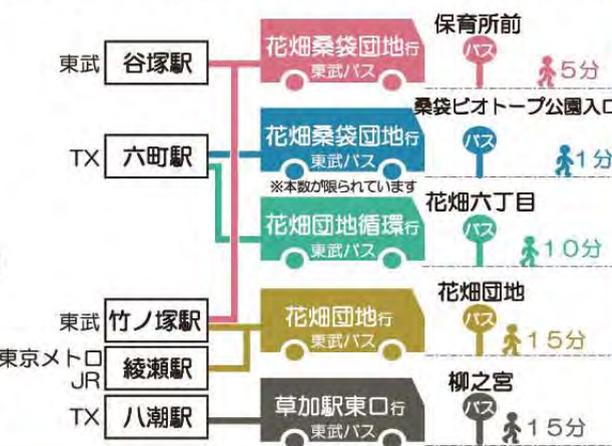
このイベントは普段の活動である「自然のあそび屋台」とは違い、池の中に入りこんで生き物をとる活動です。このまたとない機会を楽しみに、今年こそ参加したいなと思いました。

【野外解説ボランティア 山田】

ご利用案内

交通案内

東武伊勢崎線(東武スカイツリーライン)「谷塚駅」から東武バス「花畑桑袋団地」行きで「保育所前」下車、徒歩5分



開園時間

2月~10月
9:00~17:00

11月~1月
9:00~16:30

休園日

月曜日
(祝日の場合、直後の平日)

年末年始
(12月28日~翌1月4日)

入園料 無料
駐車場 無料(11台)

お問い合わせ先

桑袋ビオトープ公園(あやせ川清流館)
〒121-0061 足立区花畑8-2-2

TEL: 03-3884-1021
FAX: 03-3884-1041
HP: <http://ces-net.jp/biotop/>
E-mail: bio-park@ces-net.jp



※ご利用には通信料がかかります。
※機種によってはご覧いただけません。